

2020年度 秋季特集展示

クリームいろいろ

大正から昭和初期のスキンケア美容法



2020年9月28日(月)～2020年10月30日(金)

9:30～17:00 (10/3、17、日曜日を除く)

株式会社 **クラブ** コスメチックス

ごあいさつ

明治44(1911)年に中山太陽堂が発売したクラブ
びしん
美身クリームは、本年で110年目の節目を迎えました。
めざましく世の中が変化する中、長きにわたり変わらぬ
ものがあること、その存在の重要性を感じずにはいられ
ません。

本展では大正から昭和初期のバニシングクリーム
(第1章)、コールドクリーム(第2章)、その他スキン
ケア(第3章)を紹介します。多くの種類と多様な使用法
をみせたクリームを中心に、当時の人々の美と衛生を
育んだクラブ化粧品のスキンケア美容法をお楽しみ
ください。



株式会社 **クラブ** コスメチックス

第1章 第1節 バニシングクリーム クラブ美身クリーム（明治44年発売）

バニシングクリームは無脂肪性のさっぱりとした使用感で、肌にのばすと消えたように見えなくなります。英語“vanish（消える・見えなくなる）”が語源で、日本では明治末より生産され始めました。

中山太陽堂は英国の化粧品技師であるP・L・スミス^{しょうへい}を招聘して商品開発を行い、当初は「英国式クラブ美身クリーム」という名前で発売しました。既にクラブ洗粉の大ヒットで、会社の土台をつくっていた中山太陽堂は、クラブ美身クリームで大黒柱を築きます。



クラブ美身クリーム
（明治末～大正前半）



クラブ美身クリーム ポスター
昭和初期
（1920年代後半～1930年代前半）



クラブ美身クリーム
（昭和初期）



クラブ美身クリーム
（明治末～大正前半）



クラブ美身クリーム
（明治末～大正前半）



クラブ美身クリーム
（明治末～大正前半）



クラブ美身クリーム
（昭和初期）



クラブ美身クリームを開発した
P・L・スミス氏
明治43（1910）年

クラブ美身クリーム 使用法

当時は「荒れ止め」だけでなく、「日焦^{ひやけ}止め」としての効力も謳^{うた}われていました。また、おしろい^{おしろい}白粉下地としても一年を通して使用されていました。ターゲットは女性のみならず、男性の髭剃後や、柔らかな肌を持つ子どもも使用することができます。

一家に一個あれば、家族皆で様々な用途で使うことができ、便利で重宝するクリームです。汎用性の高さ^{あらいこ}とターゲット層の広さは、クラブ洗粉に匹敵する、もしくはそれ以上だと言えます。



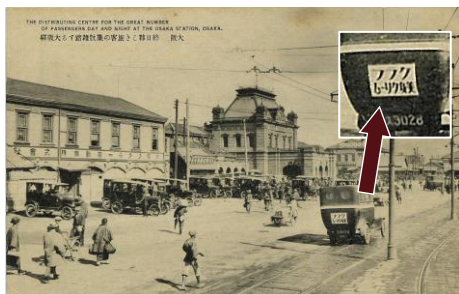
クラブ美身クリーム
(昭和初期)



クラブ美身クリーム
(昭和初期)



クラブ美身クリーム
(昭和初期)



「大阪駅前を走るタクシーの背面に見える
クラブ美身クリーム 広告」絵葉書
(昭和初期)



クラブ美身クリーム・カティフード
カード (昭和初期)



演藝画報社
『演藝画報 第二十二年・第十一号』
裏表紙広告
(昭和3年11月1日)



家事衛生研究会
『家事と衛生 第七巻・第七号』
裏表紙広告
(昭和6年7月1日)



クラブ美身クリーム・クラブ乳液
しおり
昭和初期 (1930年代前半)

クラブ美身クリーム 蓋について

発売当初は金属製の蓋に、商品名が筆文字のエンボス加工がされていました。昭和初期になると、当時流行していたセルロイド製が登場します。しかし、セルロイドは耐久性の面で劣っており、溶解しやすく熱に弱い性質を持っています。化粧品の容器の材質としては向いていると言い難いものでした。昭和10(1935)年にはエンジ色の樹脂製の蓋に変更になり、現在のデザインへと引き継がれています。

第1章 第2節 バニシングクリーム

薬用 クラブ美身クリーム（昭和10年発売）

明治44(1911)年に英国式 クラブ美身クリームを発売した24年後、中山太陽堂のバニシングクリームは進化を遂げました。総合ホルモンを配合した「薬用 クラブ美身クリーム」を発売し、マッサージ美容法との併用をすすめるクリームとして、人気を博します。広告ではその方法を示して世にひろめ、多くの女性の美を育みました。



薬用 クラブ美身クリーム
昭和初期（1930年代後半）



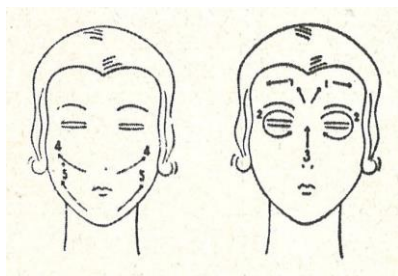
薬用 クラブ美身クリーム
昭和初期（1930年代後半）



薬用 クラブ美身クリーム・クラブ乳液
しおり
昭和初期（1930年代後半）



「大劇」パンフレット
裏表紙広告
モデル：高杉早苗
（昭和14年1月6日）



薬用 クラブ美身クリームを使用した
マッサージ美容法
昭和初期（1930年代後半）

薬用 クラブ美身クリーム 使用法

昭和10年代のカタログで、クリームを併用した5つの手順からなるマッサージ美容法を紹介しています。最初にクリームをまんべんなく伸ばし、2番目に目の周りをマッサージします。3番目の鼻の手順では余分な皮脂を防いで白粉のツキを良くし、4番目の頬の手順では血色良くふっくらとした頬にし、5番目のフェイスラインの手順では二重顎やたるみを防ぐとされています。また、就寝前や入浴後に継続して使用する事をすすめています。

第2章 コールドクリーム（昭和5年発売）

コールドクリームは油性で、肌につけた時に水分が蒸発し、冷たい(cold)感覚があります。誕生は古代ギリシャまで、日本では明治末まで歴史は遡ります。

中山太陽堂は、主に明治末の創業から大正初期にはスキンケア品を、大正期には流行のメイク品を中心に発売しました。大正末には美白化粧水等や、昭和初期には油性クリーム等、次々と品質優良な商品を世に送り出し、総合化粧品メーカーへと成長していきました。



クラブ コールド クリーム
（昭和初期）



クラブ コールド クリーム
（昭和初期）



クラブ コールドクリーム
パッケージ
（昭和初期）



洗顔用
クラブ クレンジング用 クリーム
（昭和初期）



クラブ コールド クリーム
ちらし
（昭和初期）

コールドクリーム 使用法

昭和10年代のちらしで「肌の日常のお手入れに、洗顔に、お化粧下にぜひお使いください！」と書いています。肌の乾燥や荒れに効果があり、「よく擦り込んでおいて、蒸タオル或はガーゼで拭きとる」事で肌の汚れを落としました。また、特にナイトクリームとしての使用をすすめています。西洋より入ってきた化粧下地に使用する方法は、昭和初期には日本で紹介されていましたが、広まりをみせるのは戦後の1940年代後半を待つことになります。

第3章 その他スキンケア

中山太陽堂では、先に紹介した以外のスキンケアは、「汚れを落とす」と「肌を整える」の2つに大きく分かります。汚れを落とす物には洗粉や石鹸があり、肌を整える物では化粧水や乳液、美白化粧水等がありました。昭和初期には現在と変わらない、豊富な種類の商品が揃っています。また、洗顔料の洗粉は洗髪、整肌用の化粧水は白粉の溶き水にと、用途は多岐にわたり、時代によって使用方法も変化をみせました。

汚れを落とす



クラブマッセークリーム
(明治末～昭和初期)
明治45年発売

マッサージ用クリーム。洗顔料。髪や身体にも使用。厚めにつけて拭くと汚れが取る。(対象:女性、男性、子ども)



クラブ洗粉
(明治39～40年)
明治39年発売



クラブ乳液化洗粉 試供品
(明治末～大正初期)
大正2年発売

整肌用。髭剃り後や拭き取り乳液としても。



カティ石鹸
(大正後半～昭和初期)
大正9年発売

顔・身体用洗料。洗髪にも使用。(対象:大人、子ども)



クラブ美身化粧水
(昭和初期)
大正末～昭和初期発売
整肌用。白粉下や溶き水にも。
(対象:女性、男性、子ども)



カティフード
(便利白粉)
(昭和初期)
昭和3年発売

整肌用。日焼けを防ぎ、薄化粧用にも。



クラブワイス
(大正後期～昭和初期)
大正12年発売
美白化粧水。



クラブ化粧水
(明治末～大正初期)
明治44年発売

整肌用。スキントニック、白粉下、溶き水にも。



クラブ美身ゼリー
(大正前半)
大正2年発売

濃厚化粧水。整肌用。髭剃り後、手のお手入れに。



クラブ天瓜粉
(大正初期～昭和初期)
大正4年発売

汗や脂の分泌を調整して肌を整える。化粧用として粉白粉の代用、髭剃り後にも。家庭の衛生的常備品。



クラブタルカンパウダー
(昭和初期)
大正3年発売



クラブ淡白クリーム
(昭和初期)
昭和5年発売

整肌用。化粧下や化粧直し、日焼け止めにも。



クラブつぼみ
油性クリーム
(大正末～昭和初期)
大正13年発売

主に白粉下。整肌、日焼け止めにも。

特設コーナー

山口県指定有形文化財(建造物)

たいしょうかん

旧滝部小学校本館 下関市立豊北歴史民俗資料館「太翔館」

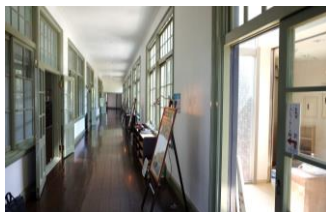
下関市立豊北歴史民俗資料館「太翔館」は旧滝部小学校本館を活用した資料館です。太翔館という愛称は、「太」は中山太一の名前からとられ、「翔」は建物の形が両翼を広げた鳥の姿と、未来に向けて羽ばたく子供たちの姿をイメージしてつけられました。

旧滝部小学校は大正13(1924)年に中山太陽堂の創業者である中山太一と弟たちの寄付により完成しました。設計はドイツ人技師によるものと言われており、宮大工の棟梁である橋本銀之助により施工されました。

建物はネオルネサンス石造様式を木造建築に取り入れた構造で、大正期の和洋折衷様式の洋風学校建築を今に伝える建物として、昭和54(1979)年に山口県の有形文化財に指定されています。



太翔館外観



1階 廊下



2階 講堂内の奉安殿前

開催中の展示

フロント企画展

海と戦う人々 一国登録有形民俗文化財「豊北の漁撈用具」の世界一

年間を通し、国登録有形民俗文化財「豊北の漁労用具」の調査成果について紹介されている展示で、月ごとに展示内容が変わります。



※詳しくは太翔館ホームページ等をご覧ください

お問い合わせ先

下関市立豊北歴史民俗資料館「太翔館」
〒759-5511 下関市豊北町大字滝部3153-1
TEL/FAX 083-782-1651
公式サイト <http://h-rekimin.jp/about/index.html>



画像提供：下関市立豊北歴史民俗資料館「太翔館」

次回の企画展は2021年春

第17回企画展「コスメチックス広告」を

予定しております

